

奈路の堀割

新しく市指定の史跡に

このほど、市文化財審議委員会（北岡博会長）で新たに市の史跡として指定された三カ所のうち、前回までに「坂本龍馬祖先の墓」「谷泰山先達の地」を紹介しました。今回は「奈路の堀割」について紹介します。



新しく市の史跡として指定された奈路の堀割

奈路地区は山間ではあるが、よく土地が開発されている。しかし、谷川が底深く流れて水利に恵まれないので、水田に利用することはなかなか困難であった。藩政時代、この地を領していた桐間氏は、水利の便を図り水田を作りたいと考えて堀割りの計画をたてた。そして、川村泰四郎、代

七の父子に命じて、中谷川の水を引いて堀割りを通じ奈路に流す計画をたてた。

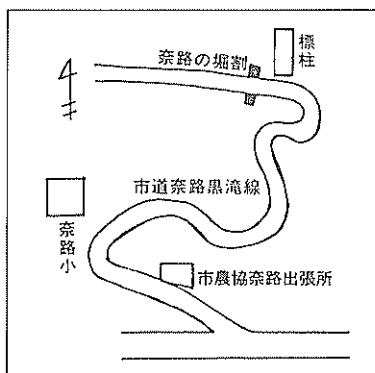
兩人は土工頭シゲジを中心にごの難工に取りかかり、嘉永二年（一八四九）さしもの難事業も完成。中谷川の水を奈路に流すことに成功した。

おかげで、田野々・新田・宮の谷・藤丘の各地区を合わせて四町歩の水田を潤すことができた。

市道奈路―黒滝線に沿って、奈路小学校から約七百メートル道路の下に奈路の堀割りが通り、清ら

かな中谷川の水を奈路に送り続けている。

—以上は、市文化財めぐり案内（市教委発行）から—



っています。

去年、原さんが高岡で種をもらってきて植えたもので、ある程度大きくなると分かっていったのですが、その大きさにびっくり。今、畑には十^十を超すかぼちゃ

が七個。原さんは「食べても味はいいようですが、一番大きいかぼちゃは食わずに飾りにします」と話していました。

これはびっくり
ジャンボかぼちゃ
○矢崎の原さん○

まるで座布団かクッションのような大きなかぼちゃ——。矢崎の原末吉さんの畑で、重さ約十五^十、直径五十センチのジャンボかぼちゃが実り、近所の話題にな



重さ約十五キロのジャンボかぼちゃ